

SSKR

にじの会だより

Vol.96



社会福祉法人 にじの会

理事長 石崎 優仁

〒181-0015 東京都三鷹市大沢 1-6-3

TEL 0422-39-2411

FAX 0422-39-2412

ホームページ: nijinokai.org



あけましておめでとうございます



社会福祉法人にじの会理事長 石崎優仁

皆様には新年をいかがお迎えになられたでしょうか。東京では穏やかな新年でしたが、国外ではトランプ政権によるベネズエラ急襲が起き、力による平和の破壊が進んでいます。温暖化による環境悪化も急速に進行しています。そのような時こそ、一層平和と生活を守る SDG s の努力の必要性を感じています。

昨年は新型コロナの収束から 3 年目でしたが、にじの会では、ほぼコロナ前の事業運営に復帰した年でした。3 年ごとの美術作品展を 3 月に開催し、11 月にはスバル体育館でのスポーツ大会も再開しました。日中活動参観も大沢にじの里・にじアート・未来工房で再開しています。一泊や日帰りの旅行・にじの会まつり・ウォーキング大会・クリスマス会等のイベントも継続して実施し、利用者やご家族・地域の方々にも楽しんでいただきました。

外形的には前に復帰になっていますが、内容的にはかなりの変化が起きています。6 年間の時の経過とコロナでの活動の制約により、多くの利用者の方々の機能状態がかなり低下しており、高齢化と障害の重度化の影響が、にじの会でも顕著になりつつあります。その中でも安全に活動を実施したり安全な生活を過ごせるように、職員が勉強や工夫をして、何とか重大な事故がない一年にすることができました。

にじの会では、一昨年に大幅な給与改定を行い職員の処遇改善を実施しましたが、昨年も可能な範囲での給与改善を実施しています。臨時の報酬改定が予定されている今年も引き続き改善を行う予定です。職員の労働条件の向上を図って、職員の確保も進めたいと考えています。昨年から応募者が増加しており、良い循環ができつつあると感じています。今後も継続していきたいと思います。

法人の運営体制については、昨年 4 月から 3 名の常務理事を選任し、日常の業務運営を担当してもらう体制を開始しました。概ね順調に職務権限の委譲が進んでおります。今年はその体制の定着を図っていききたいと思います。

業務の効率化については、業務の標準化と省力化を進めることが不可欠です。IT を活用しての業務効率化と利用者支援での IT 活用を推進するために、DX 推進担当を設定し、外部コンサルタントも導入して、今年から重点的に取り組んでいきたいと考えています。

SDG s の取組については、昨年は全事業所で飛散防止断熱フィルムの貼付を実施し、断熱での省エネ化と災害時の窓の安全対策を採りました。また今年には可搬式の太陽光発電機と蓄電器を全事業所に配置する予定です。地域貢献事業としては、昨年 1 月から三鷹市大沢地区の子ども食堂を開始しており、約 60 人の方に月 1 回お弁当の配布をしています。他地区の子ども食堂への食品の無償提供も継続して実施しています。三鷹市大沢地区の高齢者買物送迎支援事業「かわせみ」も昨年 10 月に実施一千回を超え、9 年目になる今年も継続していく予定です。

今年、10 月に法人設立 25 周年を迎えます。地域障害者支援を目的とする社会福祉法人として、利用者の高齢化・重度化への対応を含め、地域ニーズに応える新たな取り組みを始めていきたいと考えています。人材の確保もしっかり取り組みながら、にじの会全体で進めていく予定です。皆様のご指導とご支援をよろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、今年が皆様に幸多き年になりますようお祈り申し上げます。



「高齢者買物ツアーかわせみ」1000回記念パーティー

三鷹市大沢地区で始まった高齢者買物送迎支援事業「買い物ツアーかわせみ」も2017年6月の本稼働から8年半が経過しました。その間、新型コロナウイルス感染症により買い物代行に移行した期間など様々な経験をしながらも、利用者さんのケガや車両事故もゼロで、安心、安全に楽しく参加していただける買い物ツアーを運営することができました。そして、去る2025年10月16日にツアー実施回数1000回を迎え、参加延人数も延べ3,800名超となり、それを記念して、2025年11月24日に『買い物ツアーかわせみ実施1000回記念パーティー』を大沢にじの里ダイニングにて開催し、利用者の皆様と来賓の河村三鷹市長、買い物ツアーかわせみの岩田代表、生江大沢住民協議会会長を含め30名程の方が参加されました。

「石崎理事長 挨拶」



「河村三鷹市長 祝辞」



「かわせみ 岩田代表 挨拶」



「大沢住協 生江代表 祝辞」



にじの会へ花束贈呈



♪♪皆さんで合唱♪♪



パーティーは主催者挨拶、ご来賓祝辞、乾杯と進行し、ハーモニーで作った『にじのお弁当』を広げ会食、歓談、そして買い物ツアー利用者の皆様より一言ずつ、感謝の気持ちや今後も継続して欲しいなど多くのお言葉をいただき、和やかな雰囲気の中、盛大に行われました。最後はピアノの伴奏で合唱などを楽しみながらあっという間に時間が過ぎお開きとなりました。



これからも安全第一で、楽しいツアーを提供できるよう取り組んで参ります。

（地域貢献事業 担当主任 木村高大）

第15回スポーツ大会報告

11月21日(金)第15回にじの会スポーツ大会を開催しました。近年は感染症の影響もあり、近隣の公園を利用してウォーキング主体の屋外形式で開催してきました。感染症も落ち着き、春のウォーキング大会との差別化も図るため、今年は6年ぶりにSUBARU総合スポーツセンターで大会を開催しました。前回大会の様子を知らない利用者さんやスタッフも多くなり、開催に向けて不安な要素もありましたが、事故もなく無事に大会を開催することができました。当日は利用者さんの笑顔に溢れ、たくさん体を動かして楽しい一日にすることができました。近年は法人全体でも高齢化が進み、以前のような運動プログラムを実施することが難しい方もいらっしゃると思いますが、現在の心身状態に合わせて、利用者の皆さんが楽しみながら取り組むことができるプログラムやイベントを企画していきたいと思います。

(支援専門運動 高橋祥亮)



第34回三鷹市民駅伝大会

11月23日(日)第34回三鷹市民駅伝に参加しました。にじの会からは利用者さん4名と伴走としてスタッフ4名が参加しました。コースは1区2.8km(ふじみ衛生組合～東多世代交流センター)、2区2.6km(東多世代交流センター～山本有三記念館)、3区3.2km(山本有三記念館～井口コミュニティ・センター)、4区3.8km(井口コミュニティ・センター～三鷹中央防災公園・元気創造プラザ)、計12.4kmのコースです。当日の早朝に雨が降っていましたが、集合時刻にはすっかり雨も上がり良い天気になっていました。気温は低く肌寒さはありませんでしたが、皆さん熱い走りでも無事完走することができました。

(支援専門運動 高橋祥亮)





クリスマス会



●大沢にじの里



2025年12月19日(金)クリスマス会を実施しました。当日は朝から各工房やダイニングの飾り付けを行い、一気にクリスマスムードになりました。午前は各工房で作成した利用者の音楽発表動画を観賞し、楽しい演奏を楽しみました。途中サンタクロースとトナカイが登場し、一人一人に手渡しでプレゼントをくれました。お待ちかねのプレゼントに皆さん笑顔が溢れました。

昼食は豪華なクリスマスランチを食べて、ジュースで乾杯しました。午後は各工房で利用者が希望したダンスやケーキ作り、ワークショップなど素敵な時間を過ごすことができました。

(大沢にじの里 工房たいよう 藤原 智美)

●にじアート



2025年12月19日クリスマス会を実施しました。館内には華やかな装飾が施されて、楽しい雰囲気になっていました。午前は各工房で作成した音楽発表動画を視聴し、午後はサンタとトナカイに扮したスタッフからプレゼントを受け取りました。楽しみにしていたプレゼントを手に取り、皆さん笑顔で過ごしていました。

(にじアートわくわく工房 高久 江里)



二十歳を祝う会

1月12日(金)に23回目の「二十歳を祝う会」を行いました。2025年度は2名の方が二十歳を迎えられました。所属されている工房の方々からのお祝いメッセージ動画（ビデオレター）を観てとても感動されていました。本人からの二十歳の抱負、ご家族からの二十歳を迎えるまでの一緒に歩まれてきた思い出や言葉がとても印象的でした。理事長が祝辞で述べられた「好きなことを見つける」ことを意識して楽しく充実した日々を過ごしてください。

20歳を迎えられた皆さん、誠におめでとうございます。

(定期行事担当 佐藤智観)



大沢にじの里 日中活動参観報告

11月7日（金）午前、生活介護事業所「大沢にじの里」において、日中活動参観を実施しました。前半の活動参観では、工房ごとに運動、音楽、美術などを中心とした、日頃の日中活動の様子をご覧いただきました。運動では、「工房えがお」が室内での機能低下防止プログラム、「きずな工房」は、武蔵野の森公園で屋外運動の走運動を中心に実施しました。また、「工房たいよう」では、楽器演奏や歌唱を取り入れた音楽活動、「仲喜工房」では、好天の下、屋上スペースを活用した美術活動を行いました。そのほか、「せいびグループ」での館内清掃や衣類畳み作業、園芸グループでは園芸指導員の下、畑作業や野菜の収穫をご家族と共同で行いました。後半には、ご家族との懇談会を実施し、参観の感想や日中活動に対するご期待などを共有しました。終始和やかな雰囲気の中で、支援スタッフとご家族同士の交流を深める機会となりました。実施後のアンケートでは、「スタッフとの意見交換が有意義だった」「活動を参観することで、日頃の様子がより理解できた」「安全面への配慮を実際に見ることができ、参考になった」などのご意見をいただきました。

今後も、利用者の皆さまがより充実した日中活動を送れるよう、寄せられた意見を活かしながら、日中活動支援内容のさらなる質の向上に努めてまいります。

（大沢にじの里 生活介護事業 統括主任 新津健朗）



工房えがお
室内運動 ssss



園芸 野菜収穫



工房たいよう 音楽



仲喜工房 美術



工房ごとの懇談会

にじアートまつり（日中活動参観報告）

11月28日（金）の午後に活動参観と地域交流を目的とした「第6回にじアートまつり」を開催しました。活動は「わっしー工房・遊悠工房」は美術活動、「わくわく工房・工房創楽」は音楽活動でした（体験型の活動内容）。来場された方々との交流を相互に楽しまれ活気ある活動参観と交流の機会となりました。次年度は活動参観後に懇談会の時間も設けたいと思います。

また、放課後等デイサービスの音楽活動も児童たちは楽曲に合わせて元気いっぱい身体を動かして来場者と楽しい時間を過ごしました。販売ブースのエリアではにじアートの紹介動画を放映や各活動様子や展示されている美術作品を来場者の方々が興味深く見入られていました。

1階ロビーではワークショップハーモニーの販売ブースを設け「2026年にじの会カレンダー」を始め「各種パン・豆腐・スモーク製品」等、様々な商品を多くの方々が買い求めいただきました。アンケートの「活動体験することで活動内容がより深く理解できた」等の感想・意見を参考にしながら今後も利用者の自己実現に繋がる充実した活動を提供していきます。

たくさんの方々のご来場、ありがとうございました。（にじアート 統括主任 佐藤智観）



わっしー工房



遊悠工房



わくわく工房



工房創楽



放課後



人権研修『身体拘束適正化について学ぶ』

●大沢にじの里 日中支援

2025年11月3日に各部署にて人権研修を実施し、「身体拘束適正化について学ぶ」というテーマで行いました。今回の研修の目的、目標は、人権擁護意識の向上、身体拘束適正化について学び、支援を考えるという内容でした。①動画視聴を行い身体拘束適正化についての知識を深め、②グループワークを通してにじの会での身体拘束について意見交換を行いました。グループワークでは、普段関りの少ないスタッフと合同で意見交換をすることで多様な視点に触れることができ、とても良い学びの時間となりました。

①動画視聴

- ・身体拘束とは「原則禁止」であり、人権を大きく制限する行為であること。
 - ・身体的、精神的に様々な影響を及ぼしてしまうこと。
 - ・身体拘束が許される例外条件があること。（切迫性、非代替性、一時性）
- 「安全」と「尊厳」を両立させるために拘束に頼らない支援をどう実践するかを考えました。

②グループワーク

グループワークのテーマとして「身体拘束をしない支援や工夫を考える」という内容で、各グループで意見交換を行いました。取り上げられた意見としてマンパワー不足、生活環境面の問題、コミュニケーションのとり方にいたるまで多岐に渡り話し合うことが出来ました。各グループとも一人ひとりの利用者さんを想像しながら具体的な内容を共有することで、支援について多角的に考える機会となりました。

（大沢にじの里 人権擁護委員 大野）

●大沢にじの里 生活支援

入所生活とホーム職員は、動画視聴を事前に行い各フロア会議の際にグループワークを実施しました。「にじの会の身体拘束について」の動画は、1階、2階、3階生活で行っている身体拘束の行動制限に至った経緯、現状の支援、本人の状態と変化、今後の方針について等の説明があり、適正化に向けた取り組みの内容でした。

にじの会の全職員が生活支援で実施している行動制限の内容を知り、学ぶという研修であり、実際に身体拘束を実施していない部署でも、類似した事例や行動制限についての話し合いを行い、今後の支援に繋がる意見交換が出来ました。

グループワークでは、成育歴や過去の支援状況、ご本人・他利用者・職員の人権の遵守、個別支援計画の吟味、3要件を満たしているか、医療面でのサポート、等様々な角度から行動制限を検討する必要があること。ご家族様への丁寧な説明と定期的な報告が必須であること。身体拘束ゼロに向けて常に考え、関係職員が同じ方向性のもと支援していくこと。その為には様々な関係機関協力のもと適正化を推進していくことが重要であること。などの話し合いを行いました。

グループワークを実施する中で、現状の改善に向けた具体的な意見交換を行うことが出来、身体拘束を無くす支援を職員が常に考えている事、チームとして身体拘束適正化への意識が強く根付いてきている事を再確認する機会になりました。

（人権擁護委員会責任者 中嶋）

ハーモニーの就労継続支援B型移行について

就労支援事業担当常務理事 諏訪拓

ワークショップハーモニー就労継続支援A型は2025年11月1日より就労継続支援B型と就労定着支援事業の運営に変更となりました。

A型は黒字化したものの東京都より雇用契約の人数が不足しているという指摘があり、今後も安定して事業を継続していくためB型に変更することとなりました。

新規でB型事業所を立ち上げるのと同様の手続きが必要ということで2月の説明会参加後、膨大な書類を提出しようやく認可して頂くことができました。提出書類は全工房の作業マニュアルから予算・決算書類、人権擁護、安全衛生、研修、防災など多岐に渡りたくさんのスタッフに協力して頂きました。近年では企業の参入もあり新規のB型事業の認可はかなり厳しくなっているようです。手続きの途中で就労移行支援事業の廃止も決まり、10月末での同時廃止という目標で進めていきました。

書類を提出しては修正するという流れの中でひとつの事業を運営していく重みや責任を強く感じました。また、ひとつの事業の変更でこんなに大変なのに、にじの会の法人設立の際は想像もできないくらい大変なご苦労があっただろうと思いました。

A型とB型では雇用契約のありなしも含め大きく考え方を変更することが求められます。A型では利用者さんの給料、工賃を確保するため売上を上げることを第一に考えてきましたが、B型は収入から必要経費を引いたものをすべて工賃として支給する形になります。今後は利用者さんもスタッフも無理せずやりがいを持てるように作業を行い、法人の行事など楽しめる活動も取り入れていきます。3月には初めて文化行事に参加し、ステージ発表も行う予定です。また、今まで就労移行が行っていた配膳、館内清掃も利用者さんと一緒に行うようになってきています。今後はスタッフの意見も取り入れながら利用者さんと一緒に今までにない新しいハーモニーの形を構築していきたいと思っています。

いつもギフトやお店などご利用頂き誠にありがとうございます。B型に変更になっても今まで同様、質の高い商品作りを継続していきますので今後とも応援、ご協力をお願い致します。



【毎年人気のシュートーレン】

今年は生産数を増やしました！

2025年度 職員表彰

2025年の表彰者は以下の方々に決定しました。（敬称略）



1. 研究功労賞

①美術専門スタッフ（千葉鉄也・臼井絵子・内山久子）

〔事由〕 テトテヲ展（5法人合同作品展）の開催とカレンダー等の広報の拡大

②寝具改善担当チーム（時田秀明・坂野健司・中嶋みゆき）

〔事由〕 大沢にじの里個室寝具のフランスベッドへの変更により、利用者の就眠環境の著しい改善を実施

③こども食堂担当（西村奈保子・清水宏一郎・望月由美・網野ユタカ）

〔事由〕 大沢地区のこども食堂を弁当配付とネット申込方法で順調に開始し、地域の方々に感謝されている。

2. 運営功労賞

①人権擁護委員会（中嶋みゆき・坂野健司・国分大樹・鈴木由季代・中川陽介・瀧上義則・宮島麻弥・大野雄輝・武内久弥・椿大輔・武捨清奈恵・桜井詩音・望月由美）

〔事由〕 虐待防止マニュアルの設定等により人権擁護活動の向上を実施

②大沢にじの里生活3F（中嶋みゆき・塚本舞子・吉永はるな・鈴木由季代・平沼明香里・本橋侑子・金子明理寿・波多野姫花）

〔事由〕 利用者の安心安全な生活支援を実行し、難度の高い利用者にも落ち着いた生活を提供できている。

3. 勤続表彰

①優秀勤続15年賞

白坂伸・千葉鉄也・西垣内義彦・田村理美・金子修

②優秀勤続10年賞

高久江里・綱本誠・羽石敏・飯田まゆ美・山本悠・塚本舞子・小林理人・日暮優菜・大倉生・小日向定子・鈴木由季代・首藤円美・名取哲也・藤田淳・吉永はるな

③優秀勤続5年賞

本橋侑子・平沼明香里・櫻井智隆・佐藤美知子・竹内真実



『にじの会だより96号』 定価 50円

発行所：特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17 ヴェルドゥーラ祖師谷 102号

TEL:03-6277-9611 FAX:03-6277-9555

編集人：社会福祉法人にじの会

〒181-0015 東京都三鷹市大沢 1-6-3 TEL：0422-39-2411 FAX：0422-39-2412